

会社沿革

田原屋の創業は明治12年。今から140年以上前のことです。

明治・大正期の綿糸商を皮切りに、戦後川崎の商店街に小さな衣料品の店舗を開店、

高度成長期には総合衣料大型店を駅近の商店街に展開、

そしてバブル崩壊以降は中・小型店中心の総合衣料品専門チェーンを構築と、時代の移り変わりに合わせて何度も会社の姿を変えてきました。

1879年（明治12年）	現在の川崎市堀之内で綿糸商として創業。
1924年（大正13年）	合名会社田原三蔵商店に改組。
1948年（昭和23年）	株式会社田原屋設立。川崎駅前の銀柳街商店街（現川崎店）にて小売業をスタート。
1957年（昭和32年）	川崎本店ビル完成。総合衣料の販売を開始。
1959年（昭和34年）	総合衣料大型店の多店舗化を開始。
1984年（昭和59年）	総合衣料中・小型店業態を開発。
1991年（平成3年）	本部機能立ち上げ、全社にPOSシステム導入。
1992年（平成4年）	セントラルバイイング体制開始。物流センター稼働。
1996年（平成8年）	本部機能の拡充・完成。
1997年（平成9年）	新しい店舗名として「パシオス田原屋」と「パシオス」を導入。
1998年（平成10年）	1号店の川崎店開業から50周年を迎える。
2000年（平成12年）	ファッション衣料の中・小型店「パシオス」の多店舗化を開始。
2002年（平成14年）	東京23区初出店となる錦糸町店のオープン。
2003年（平成15年）	店舗数100店舗達成。
2004年（平成16年）	店舗名をすべて「ファッションプラザ パシオス」に統一。
2004年（平成16年）	静岡県初出店となる熱海店のオープン。
2004年（平成16年）	社内報発行開始。
2008年（平成20年）	新物流センター稼働開始。
2008年（平成20年）	全社にオンラインPOSシステム導入。
2008年（平成20年）	愛知県初出店となる岡崎ウィングタウン店のオープン。
2012年（平成24年）	京都府初出店となる京都ファミリー店のオープン。
2013年（平成25年）	山梨県初出店となる河口湖店のオープン。
2013年（平成25年）	本部を現在のソリッドスクエアへ移転。
2014年（平成26年）	滋賀県初出店となるフォレオ大津一里山店のオープン。
2014年（平成26年）	大阪府初出店となるフレンドタウン深江橋店のオープン。
2015年（平成27年）	オリジナルブランド「A p i（アピ）」「SUFFUSE（サフューズ）」「SPEEV（スピーブ）」の展開スタート。
2018年（平成30年）	兵庫県初出店となる宝塚中山店のオープン。
2018年（平成30年）	オリジナルブランド「FOVL（フォブル）」の展開スタート。
2019年（令和元年）	オリジナルブランド「LAVIMORE（ラビモア）」「PEAQOM（ピーコム）」の展開スタート。
2020年（令和2年）	本部・店舗コミュニケーションツールのデジタル化。
2021年（令和3年）	KGモデル新業務シフトによる店舗運営の開始。
2021年（令和3年）	ECサイトの立上げ。